

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.221

2024. 3. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」

岩手の署名は 31,539 筆（～2月末。うち郵送 352 通・1,369 筆）

全国市民アクションでは、みなさんが集めた署名を含め、全国から 41 万人分の署名を 2/19 国会に提出しました。

改憲・大軍拡よりくらしを守れ！—矢巾九条の会結成 18 周年記念講演会—

12月2日に、「大軍拡より生活守れ！…「改憲」・懷憲策動とどう闘うか」という演題で、小笠原基也弁護士に講演を頂き、30人が参加しました。

最初にそもそも憲法とは何のためにあるのかの話がされ、憲法の目的は個人の尊重や健康など個人の尊厳を守ることになり、国民主権や基本的人権の尊重や平和主義はそのための手段や土台となることが話されました。自民党改憲4項目の特に緊急事態条項の危険性や、民主主義の基本は対話、改憲・軍拡を許さないためにどう闘うのかが話されました。改めて憲法9条を守り活かすことが大事だと再学習しました。

感想として「とても分かりやすく、軍拡が生活を破壊することが分かりました。国連の重要性もわかりました」「平和は努力しなければ守れない。小・中・高校教育の中に憲法を科目として取り上げ平和教育が出来ないか必要ではないか」「大変有意義な講演でした。もっと若い世代の参加があればいいと思いました」「どんな理由があれ戦争は絶対許せません」などが出されました。

講演会後の総会で報告した、矢巾九条の会の「パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な休戦を求める請願」が、12月14日の矢巾町議会で全会一致で採択されました。



音楽と憲法ビンゴで楽しみながら新春平和のつどい開催 —都南9条の会—

しばらくコロナ禍で開催できていなかったつどいを、2月12日に41名で開催しました。



第1部は、弦楽合奏団「虹のクインテット」によるミニコンサート。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」（モーツァルト）、「アンダンテ・カンタービレ」（チャイコフスキー）の美しいメロディーに聴き惚れ、日本中（世界中）の暗い現況の中、久しぶりに爽やかな気分になった、と参加者から声がありました。みんなが知っている曲も流れ、合わせて歌ったりして、楽しい時間を過ごしました。

第2部は「憲法ビンゴ」。あすわかで作成した、憲法条文の数字を使うビンゴゲームです。例えば、地方自治を定めた92条、という条文を引いた場合はその項目を読みます。そして、「地方のことは地方で決めよう！民主主義の学校です」「沖縄もこうでなくちゃいけませんよね」と日常で起きている事柄や言葉を付け加えました。すると、現在辺野古新基地建設で政府が無謀でいかに憲法を無視・国会を軽視し、不都合な真実を隠し通そうとするでたらめな政治が続けていることがよくわかり、ずっと体に入ってきて憲法が身近に感じられました。

楽しみながら憲法を学べ、春にふさわしい演奏とともに、本当に爽やかないい気分でしたまた企画してほしいし、「憲法ビンゴはナイスアイデアですね」という感想が多く聞かれました。

お知らせ①「さようなら原発岩手県集会2024」

3月17日(日) 10:00～12:00 岩手教育会館 多目的ホール

講師：樋口英明さん(元福井地裁裁判長) **参加無料** 参加締切：3/8

※当日はライブ配信も実施。女川原発再稼働反対運動報告、アピール行進も行います。

お知らせ②映画「廃墟と化した鉄の町―釜石艦砲射撃の記録―」盛岡上映会

3月23日(土) 10:30～・14:00～ アイーナ小田島組☆ほ～る

前売：一般 1,000円(当日 1,200円) 小中高大学生 500円(当日同額)

お知らせ③劇場版「荒野に希望の灯をともし」花巻上映会

4月14日(土) 13:30～ 花巻市文化会館 中ホール

入場料無料(ただし入場整理ハガキが必要です)



樋口英明さん



お知らせ④「5・3憲法集会inいわて」

5月3日(金・祝) 10:00～12:00

岩手教育会館 多目的ホール

講師：元山仁士郎さん

(「辺野古」県民投票の会元代表、INIT国民発議プロジェクト共同代表)

参加無料 参加締切：4/26

※当日はライブ配信実施。集会後にピースパレードも行います。

◇お申し込み・お問い合わせ：①②④は岩手県生協連、③は岩手県ユニセフ協会 019-687-4460 まで



―「米、停戦決議に拒否権

(昨年10月、イスラエルとハマスの戦闘開始以来4度目) 国連安保理」―

この間米国は「4度目の拒否権行使」を行い、国際社会から落胆されております。

まずはその報道(抜粋)を見ましょう。

【エルサレム共同、'24・2・22 岩手日報】米、停戦決議に拒否権 国連安保理 …国連安全保障理事会は20日、(イスラエル)軍によるガザ最南部ラファへの地上侵攻回避に向け「即時人道停戦」を求めた決議案を否決。常任理事国の米国が拒否権を行使した(全15理事国中、日本を含む13カ国が賛成、英国が棄権―他報道)。米国はガザ休戦を巡る交渉を「妨げる」として決議案に反対した。トーマスグリーンフィールド米国連大使は、ハマスが拘束する人質の解放を条件に「可能な限り早急な一時停戦を求める」とした独自の決議案を提示すると表明した(「決議案」には「全ての人質の即時かつ無条件の解放」が入っている―他報道―)。…

パレスチナのマンスール国連代表は「イスラエルが殺害を犯しても責任を逃れ続けられるというメッセージになった」と批判しました(他報道)

米政府は「イスラエル支持、支援」を止めるべきです。イスラエルと米の両政府は「2国家共存(‘48年国連決議、現在も国連は強く主張)」を支持、実行すべきです。米政府は「ロシアのウクライナ侵略は批判」「イスラエルのパレスチナ侵略は支持、支援」などと言う「ダブルスタンダードの外交」は止めるべきです。また、米政府は「プラグマティズム」的に国連を利用するのではなく、国連憲章を遵守し、国連中心の国際政治をするべきです。

米政府の「国際外交」に対する評価を国際社会はしっかり立て直しましょう。加えて日本政府、岸田政権は米政府に対して「米の言いなり」ではなく「自主的態度」の「外交姿勢」を取るべきです。(‘24・02・22 記)

(T)

「3月の岩手の会街宣行動」8日(金)12:30～13:00 盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。